

2025年度事業計画書

2025年4月1日～2026年3月31日

当財団は定款に従い、家庭・地域社会などの場での教育とりわけ日本の伝統的・文化的な教育の研究及び実践を支援し、また、その精神を現代の子育て・教育環境に反映させていく方策の探求及び実践を通じて、失われつつある日本型共同体の再建を図り、そこで育まれた優秀な人材を世の中に輩出していくことをもって、永続的な日本の発展に寄与し続けるという目的を達成するために活動しております。

以上の目的を具体化するために、当財団では、家庭や地域社会などの場での教育に関わる基礎研究や実践活動への助成を行うことを事業の柱とし、併せて本年度より調査研究事業を行い、公益活動に邁進いたします。

1. 定款第4条1項1号事業

(1) 目的

家庭・地域社会などの場での教育、とりわけ日本の伝統的・文化的な教育について研究している研究者に対する研究助成及びこのような教育を現代の子育て・教育環境の下で実践している団体に対する活動助成を通じ、家庭・地域社会などの場での教育に関する研究及び実践活動の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容

① 助成金総額

2,600万円（限度額は1件あたり100万円）

② 助成対象者

大学・短大・高等専門学校に所属する研究者、または非営利活動を行う団体の代表者。

③ 募集方法

当財団ホームページ、大学、学会等を通じて広報し、公平性が担保された方法で広く公募する。

(3) 実施時期

- ・募集：2025年8月1日～8月27日 15:00まで
- ・選考：2025年9月下旬開催予定の選考委員会
- ・承認：2025年9月下旬開催予定の理事会
- ・通知及び交付：理事会の承認後、速やかに行う。

2. 定款第4条1項2号事業

(1) 目的

家庭・地域社会などの場での教育、とりわけ日本の伝統的・文化的なこれらの場における教育を、現代の子育て・教育環境に反映させていくための取り組みとして、自ら計画する調査研究を行い、調

査研究の成果等を公開することにより、家庭・地域社会などの場での教育の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容及び実施時期

調査研究費総額：530万円

研究対象：家庭・地域社会などの場における調査研究

実施時期：2025年4月1日～2026年3月31日

研究方法：専門的、学術的な知見を持つ研究者が所属する研究機関に委託して実施し、研究期間中は適時モニタリングを実施する。

研究成果：研究成果等は年度ごとに当財団ホームページにて公開する。また、公知や教育に有用と判断した場合は、オンラインなどによるセミナーを実施する。

以上